

# U.S. Indicators

発表日: 2024年12月3日(火)

## 11月ISM製造業は予想上回るも米製造業の停滞継続

～拡大した業種数は3業種に減少～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

24年11月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、48.4(前月46.5)と前月比1.9%ポイント上昇し、市場予想中央値の47.6(筆者予想47.0)を上回り、米製造業部門の縮小ペース鈍化が示された。米大統領・議会選挙の終了や、天候の改善、スト終了等によって、先行き不透明感が弱まり、企業が設備投資や在庫投資に前向きになりつつある。ただし、拡大した業種数が18業種中3業種に減少しており、米製造業部門の停滞が継続している。それでも、製造業景気指数は米国の景気後退に陥った時期の水準を上回って推移しており、米経済全体の調整を示していない。

11月の構成項目別の前月からの変化では、入荷遅延が低下した一方、在庫、雇用、新規受注、生産が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延が前月比▲0.66%ptの押し下げ寄与となったものの、在庫が前月比+1.10%pt、雇用が前月比+0.74%pt、新規受注が前月比+0.66%pt、生産が前月比+0.12%ptの押し上げ寄与となった。構成項目の水準では、新規受注が50を上回った一方、入荷遅延、雇用、在庫、生産が50を下回った。

入荷遅延は48.7(前月52.0)と50を下回って低下し、入荷が速くなったことが示された。サプライヤーの生産能力に余裕があるなか、港湾ストや悪天候に関連した物流の混乱が収束した。一方、新規受注は、在庫の減少や一部の業種での25年に向けた期待の高まりを背景に50を上回った。ただし、拡大した業種数は18業種中5業種(前月3業種)にとどまっており、緩やかな需要の回復を示している。

また、雇用は、48.1(前月44.4)と上昇したが、レイオフ、自然減、採用凍結による人員削減が続き50を下回っており、増加した業種数が3業種(前月3業種)にとどまった。生産は、46.8(前月46.2)と低い水準となり、拡大した業種数は18業種中6業種(前月6業種)にとどまった。在庫は、48.1(同42.6)と在庫の減少幅の縮小を示したが、生産抑制の影響もあり増加した業種数は3業種(前月2業種)にとどまった。

サブ項目では、輸出受注DIが48.7(前月45.5)と輸出の減少ペースの鈍化が示された一方、輸入DIが47.6(前月48.3)と輸入の減少ペース加速が示された。

他方、インフレの動向を示す仕入価格指数は、50.3(前月54.8)と低下し、インフレ圧力の緩和が示唆された。商品別では、アルミニウム、銅、天然ガス等の価格が上昇したが、原油、ディーゼル燃料、プラスチック樹脂、溶剤、熱間圧延鋼、鉄鋼製品が下落した。供給不足品では、電気部品に加えて、電子部品、電気機器が挙げられた。

## I SM製造業景気指数

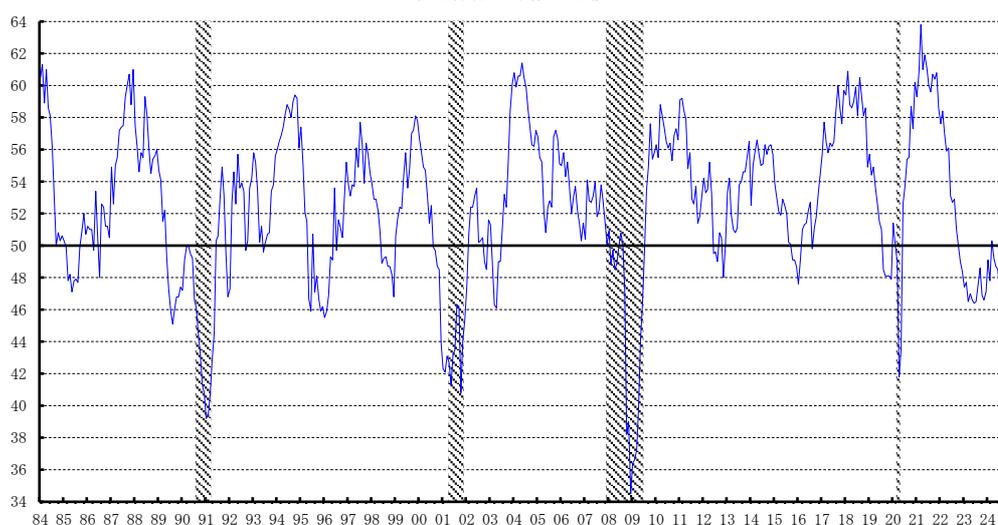
	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
23/11	46.6	47.8	48.8	46.1	44.3	46.2	39.3	49.9	46.0	46.2
23/12	47.1	47.0	49.9	47.5	43.9	47.0	45.3	45.2	49.9	46.4
24/01	49.1	52.5	50.4	47.1	46.2	49.1	44.7	52.9	45.2	50.1
24/02	47.8	49.2	48.4	45.9	45.3	50.1	46.3	52.5	51.6	53.0
24/03	50.3	51.4	54.6	47.4	48.2	49.9	46.3	55.8	51.6	53.0
24/04	49.2	49.1	51.3	48.6	48.2	48.9	45.4	60.9	48.7	51.9
24/05	48.7	45.4	50.2	51.1	47.9	48.9	42.4	57.0	50.6	51.1
24/06	48.5	49.3	48.5	49.3	45.4	49.8	41.7	52.1	48.8	48.5
24/07	46.8	47.4	45.9	43.4	44.5	52.6	41.7	52.9	49.0	48.6
24/08	47.2	44.6	44.8	46.0	50.3	50.5	43.6	54.0	48.6	49.6
24/09	47.2	46.1	49.8	43.9	43.9	52.2	44.1	48.3	45.3	48.3
24/10	46.5	47.1	46.2	44.4	42.6	52.0	42.3	54.8	45.5	48.3
24/11	48.4	50.4	46.8	48.1	48.1	48.7	41.8	50.3	48.7	47.6

11月に拡大した業種は、全18業種のうち食品・飲料・タバコ、コンピューター・電子機器、電気設備・部品の3業種（前月5業種）にとどまった（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種では、食品・飲料・タバコ、コンピューター・電子機器の2業種が拡大した。

一方、縮小した業種は、印刷・関連サポート活動、プラスチック・ゴム製品、化学製品、紙製品、輸送機器、加工金属、家具・同関連、一般機械、非鉄、その他製造業、一次金属の11業種と前月11業種から変化しなかった。なお、繊維、アパレル・皮革製品、石油・石炭、木材製品は前月と変わらずとなった。

今後の製造業部門の活動は、トランプ政権2期目の貿易戦争に対する警戒が抑制要因となるものの、FRBの利下げ継続期待の高まりを背景とした設備投資や在庫投資の増加ペース加速などを受け、活発化する公算が大きい。

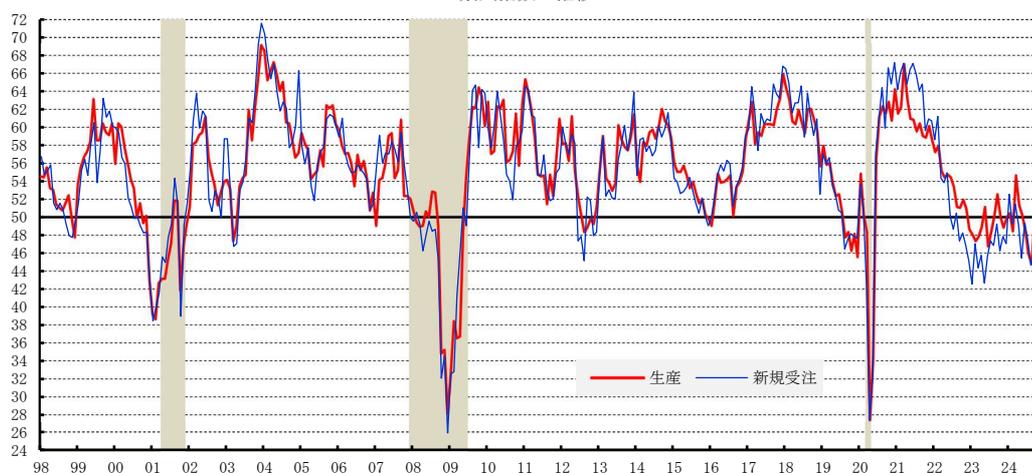
I SM製造業景気指数の推移



(出所) I SM

(注) シャドー部は景気後退期。

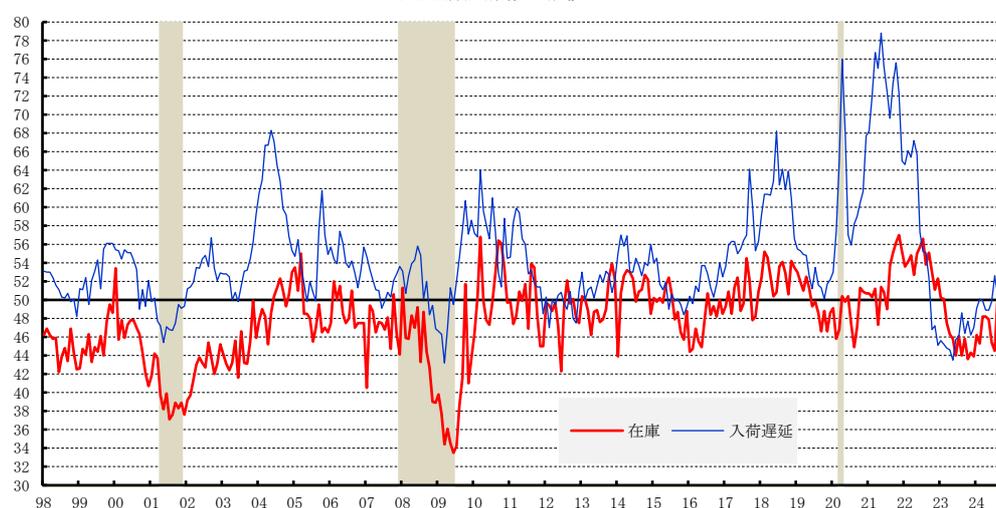
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シェード一部は景気後退期

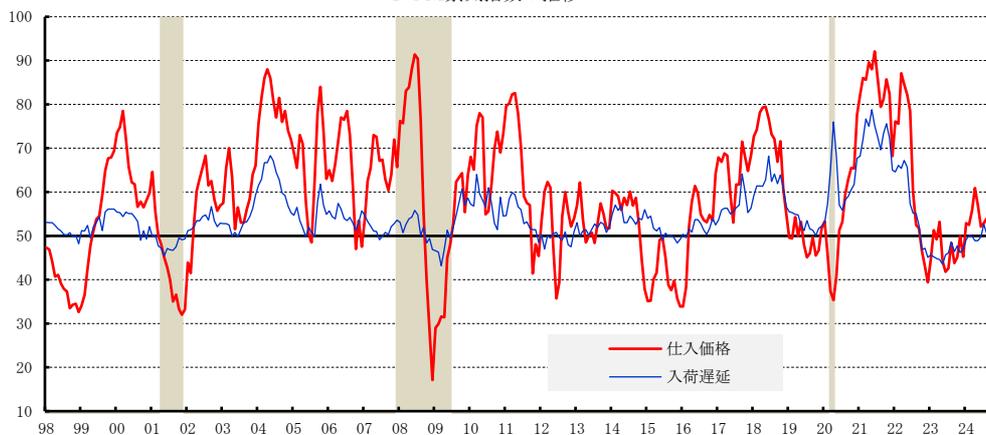
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シェード一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シェード一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

